

晃の園だより

発行 / 特別養護老人ホーム晃の園 (偶数月発行)

<http://www1.ocn.ne.jp/~suruga/hikari/>



笑顔と元気と車いす

沢山のものをいただきました

同じ地域にある清沢小学校の5・6年の児童さんが晃の園に見え、資源回収で得た収入で購入した車椅子を寄附してくれました。当日は、自分達で企画した車椅子の贈呈式を開いてくれた上に合唱やリコーダーの合奏まで披露してくれました。ここ数年、毎年のようにこういった企画を継続してくれていて本当に感謝の気持ちでいっぱいです。車椅子だけでなく、みんなの笑顔や元気など沢山のものをいただきました。



ささやかなお礼に、ちょっとだけ新鮮な体験を

贈呈式の後には、晃の園の正面玄関において車椅子と福祉車両の体験会を開催させていただきました。前年も同じ催しをやらせてもらい、そのときの5年生が今年は6年生となって下の学年に教えている姿が見られました。なかなか日常生活の中で「車椅子」とは馴染みのないものだけに、ちょっと新鮮な体験になってくれれば・・・、といったところです。

普段の生活の中で

外出でもなく特別なイベントでもない・・・、普段の生活の風景です。こういった普段の生活の中での入居者様の笑顔こそが、とても大事なものに思えます。



リビングより声が聞えてきました。声の辺りを探すと目を閉じ歌っていらっしゃる入居者様の姿が。何を想って唄っていらっしゃったのでしょうか...



快晴だったこの日、皆様でお散歩に出かけました。ポカポカ陽気でも冷たい風が...。でもたまにはこうして季節を感じるのもいいですね。



実習生さんとお別れの日、最後の挨拶の時に「寂しくなっちゃうよあ。」と涙を流しておられた利用者様。立派な福祉人になって欲しいですね。



入居者様が職員の爪を切って下さいました。なかなか切れずに苦戦して爪きりを縦にしたり横にしたり...。思わず笑顔がこぼれ和やかな雰囲気でした。



以前クラブで演奏をしていた経歴をお持ちの利用者様はやはりピアノの前に座ると別人に...。皆さんのリクエストに応えて下さいました。



そろそろ春らしくなってきたので千草ユニットでも春の支度です。色鮮やかな花に囲まれて入居者様の笑顔もいつにもまして良い笑顔ですね。

春の 新人職員



4月から一緒に働く仲間です。さわやかな春の陽気の下、新しいスタートに胸をときめかせる彼らの今後の活躍に期待したいものです。よろしくお願いします。

ここに掲載した写真や記事は、晃の園ホームページ上の掲示板「旬のネタ」から抜粋したものです。掲示板「旬のネタ」には現場からのニュースが随時掲載されています。ここに掲載しきれなかったニュースや話題もたくさんありますので、よろしければご覧ください。晃の園ホームページには「晃の園」で検索するか次のアドレスからアクセスしてください。
<http://www1.ocn.ne.jp/~suruga/hikari/>

鬼は外！福はユニットに！

今年も来ました、優しい鬼が

節分には今年も恒例の豆まきを行いました。昨年同様、赤鬼・青鬼の登場で入居様は張り切って勢い良く豆を投げていました。あれ？鬼と仲良くなっている

入居様もいますよ。仲良くなることも福の中にも含まれているのかもしれないね。



願いを込めてかぶりつき

節分のお昼は、七種類の具を入れて、福を食べるという意味合いもある恵方巻きにかぶりつきました。無病息災、願い事が叶う、その年必ず幸運が訪れる、厄落とし等の意味をも持つとされているそうです。皆さんに福が来ますように。



豆を食べる訳を知っていますか？

炒った豆をまき、まかれた豆を自分の年齢の数だけ食べることになっていますが…。みなさんお元気で年を重ねているため、年の数だけ食べるのはとても大変。でも、たくさんの豆を食べていましたね。

自分の年の数より1つ多く食べると、体が丈夫になり、風邪をひかないという慣わしがあるそうです。「豆を食べると健康にいいからね」とはりきって豆を食べている入居様が印象的でした。ずっと丈夫でいてくださいね。



冬の楽しみ、お汁粉作り

お汁粉を食べて心も身体も暖かに

1月下旬、まだ寒いこの時期に、晃の園ではあちこちで申し合わせたかのように、お汁粉作りが行なわれました。寒い時に食べるお汁粉はとても美味しいですね。作り始めると入居様も手伝ってくださり美味しそうなお汁粉があっという間に出来上がっていました。



さぁ出来上がったお汁粉をお椀によそって実食です！とても上手にできたおかげで、いたるところから入居様の「美味しいね。」「まだおかわりある？」という声が聞かれました。入居者様も職員も大いに楽しんだお汁粉作りでした。



想いは様々、ひな祭り

晃(ひかり)をつけましょ 晃の園に～

三月になり春の気配を感じ始めた頃、晃の園でも園内のあちこちでお雛様が飾られ始めました。立派な七段飾りのお雛様を入居様に教えていただきながら並べていくのも毎年の恒例行事となったようです。

入居様とお雛様の一年ぶりの再会。皆様の心にもあたたかい晃(ひかり)が灯ったようでした。



花より団子ではないけれど

ひな祭りのもう一つの楽しみと言えば、やはり桜餅やひなあられですね。見て楽しむもよし、食べて楽しむもよし。皆様はどちらがいいですか？

健やかな成長の願いを込めて

園内のあちこちで見られたひな飾りは、折り紙で折られた手作りの可愛いものから、背丈よりも高い立派なものまで様々でした。姿かたちは違っても、女の子の健やかな成長を祈る気持や、それを懐かしむ気持ちには変わりはありませんね。

入居様の様々な想いにそっと触れ、やさしく揺り動かし、そして静かに語りかけてくれる…。そんな晃の園のひな祭りを、お内裏様とお雛様はいつまでもやさしく見守ってくださっていました。



冷たいけど暖かい贈りもの

冬の寒気もようやくゆるみはじめ、陽光にも春のぬくもりを感じられるこの頃ですが、冬の間に山間地では何度か雪も降りました。その時に大川高齢者生活福祉センターの職員さんが、ここショートステイの利用者様に残り雪を集め、届けてくれました。



童心に返ったように

普段あまり雪を見たり、触れる機会がなかった利用者様は大喜び。まるで子供の頃に戻ったかのようにしゃぎながら、「冷たい、冷たい」と手に手に雪を取り、雪だるまや雪ウサギなど思い思いの形にして楽しんでいました。

